

RSC-4NC-MTファームウェアバージョンアップ

4.30Cでの新機能ご紹介 ならびに 注意書き

明京電機株式会社

1.1版(2025/9作成)

弊社REBOOTERシリーズ[RSC-4NC-MT]を平素ご利用いただき、誠にありがとうございます。
ファームウェアを「4.30C」にバージョンアップ後、使用できる機能をご紹介します。

注意：書換後、ダウングレードを行うことはできません。

《大きな変更点》

- ・SNMP(v1,v3)にて接点制御が可能となりました。
- ・RSC-MT4HSで作成した「全スケジュールデータ」「全パターンデータ」を読み込めるように修正しました。
RSC-MT4HSの「全カレンダーデータ」がRSC-4NC-MTに流し込めないのは仕様となります。
また、RSC-4NC-MT 4.30Bの時点で保存した「全スケジュール」「全パターン」「ユーザー定義休日」データは、RSC-MT4HS,またRSC-4NC-MT 4.30C以降では読み込むことはできません。
4.30Cにバージョンアップしてからデータを保存するようにしてください。データファイルの保存、読み込みはWEB画面メニューより行ってください。
- ・接点入力で手動SWモードを選択した際のWEB画面表示等を変更しました。
WEB画面の簡易状態表示,詳細状態表示画面にて、「SW」と表示されます。
SSIコマンドを実行すると「Manual SW」と表示されます。
- ・接点入力で手動SWモードを選択した際に接点入力LEDが点灯するように変更しました。
手動SWがOFFの場合,該当の接点入力LEDは点灯します。手動SWがONの間またはコマンド送信後待機時間が完了するまでの間は0.5秒点灯→0.5秒消灯を繰り返します。
- ・接点入力LEDが正常に点灯するように修正しました。
「ノーマル・パルス・トグル」設定時,入力LOWの状態でCPURESETした際に,該当の接点入力LEDは点灯します。「リバース・パルス・トグル」設定時,入力HIGHの状態でCPURESETした際に,該当の接点入力LEDは点灯します。
- ・スケジュール設定の「休日テーブル」において、8/11[山の日]がデフォルトで祝日設定されていなかったのを修正しました。
- ・PING監視にて、Ping送信間隔(秒)について,Ping監視 無応答検出時間(秒)の設定値によって最小値が変動するように修正しました。
4.30BではPing送信間隔の設定値が小さすぎたときに、無応答がカウントされず監視動作が発動しない場合があります。
Ping送信間隔(秒)を9秒～26秒に設定したい場合は詳細取説をご覧ください。

- ・HB監視にて、STBポートと電源供給アウトレットの番号部分が異なる場合にMPONではPause状態が解除されなかった不具合を修正しました
- ・HB監視のポートのみを変更の際、WEBメニューにCPUリセットを促す表示がされるように修正しました。

《変数の差異》

本バージョンアップに伴う変数の追加,削除,初期値の変更はありません。

《バージョンアップの方法》

電源管理クラウド365をご利用の方は,電源管理クラウド365からのオンラインバージョンアップも可能です。方法についてはP4をご覧ください。

※電源管理クラウド365をご使用になるには, 保守パックまたは単体パックのご契約が必要です。

[システム設定]の[詳細設定]をクリックします。詳細設定画面が表示されます。

[ファームウェア更新]をクリックすると, 以下のメニューが開きます。

オンラインアップデートを行う場合：[開始]をクリックすると、弊社サーバーに接続してアップグレードします。

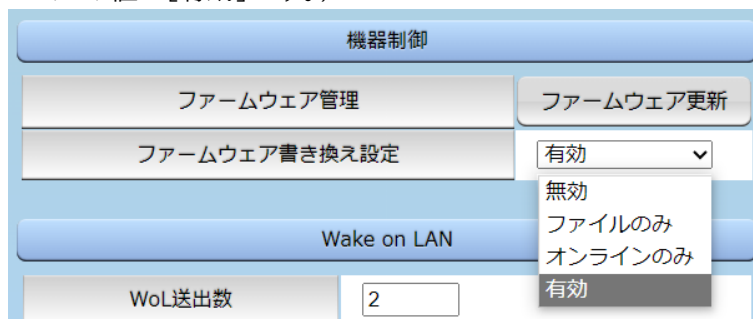
ローカルアップデートを行う場合：[ファイル選択]をクリックし、PCに保存したアップグレード用のファイルを選択してアップグレードします。

電源管理クラウド365からのオンラインバージョンアップ

電源管理クラウド365をご利用中のお客様は、電源管理クラウド365からオンラインバージョンアップを行うことができます。

事前に、リブーターの設定で[システム設定]-[詳細設定]-「機器制御」の「ファームウェア書き換え設定」を[有効]または[オンラインのみ]に設定してください。

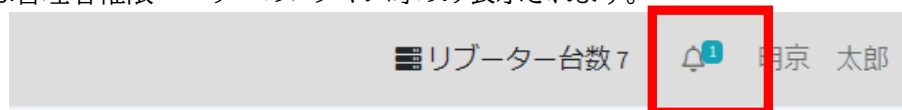
(リブーターのデフォルト値は[有効]です。)



注意 正常にファームウェアアップデートが完了すると、自動でリブーターのCPUリセットが行われます。
CPUリセットを行ってもアウトレットの状態は変化いたしません。

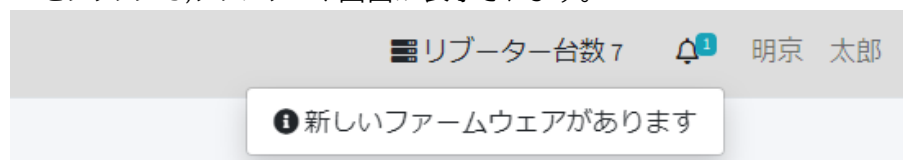
アップデートが可能になると、ダッシュボードに通知が表示されます。

通知は管理者権限ユーザーのログイン時のみ表示されます。



通知マークをクリックでメッセージが表示されます。

メッセージをクリックで、アップデート画面が表示されます。



アクティベートされたリブーターが一覧で表示されます。

アップデート可能なリブーターは赤背景で表示されます。

ファームウェアアップデート未対応のリブーターはステータスに「未対応リブーター」と表示されます。

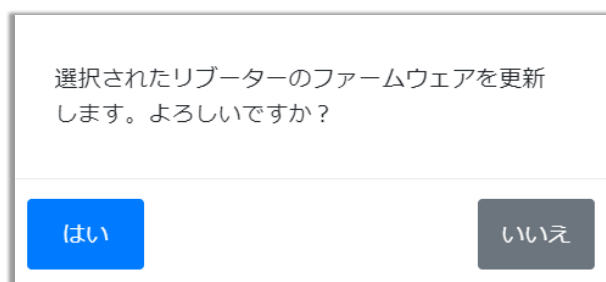
未対応リブーターはリブーターのWEB画面からアップデートを行う必要があります。



アップデートを行うリブーターの行をクリックして、アクティベートするリブーターを選択します。
[未アップデートを全選択]をクリックでアップデート可能なリブーターをすべて選択することができます。



[アップデート実行]をクリックで確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。



ファームウェアのアップデートが実行されます。実行中のリブーターは背景が灰色となり、ステータスが「更新中」になります。

タスが「リブーター待機中」または「アップデート中」となります。
背景が灰色の間は、リブーターの操作を行うことはできません。

🏠 リブーターファームウェア管理

⌂ 戻る

リブーターファームウェア管理

SSHサーバー機能対応機種に関しては、SSHでのコネクションが切れている状態でバージョンアップを実行してください。

行クリックで選択／選択解除

☒ 未アップデートを全選択

☐ 全解除

| デバイス名称 | 機器 | 現在のファームウェア | 最新のファームウェア | ステータス |
|------------------------|-------------------------------|--------------|--------------|----------|
| リブーター-0005 RPC-M4LS | WATCH BOOT L-zero RPC-M4LS | 4.10A.230628 | 4.10A.230629 | アップデート中 |
| リブーター-0009 RPC-M2CS | WATCH BOOT nino RPC-M2CS | 4.10A.230628 | 4.10A.230629 | アップデート中 |
| リブーター-0010 RPC-M5CS | WATCH BOOT light RPC-M5CS | 4.00A.230123 | 4.10A.230629 | 未対応リブーター |

3件中1〜3件を表示

前1次

🔍 アップデート実行

⌂ 戻る

リブーターのアップデートが完了すると、ステータスに「アップデート完了」と表示されます。

🏠 リブーターファームウェア管理

⌂ 戻る

リブーターファームウェア管理

SSHサーバー機能対応機種に関しては、SSHでのコネクションが切れている状態でバージョンアップを実行してください。

行クリックで選択／選択解除

☒ 未アップデートを全選択

☐ 全解除

| デバイス名称 | 機器 | 現在のファームウェア | 最新のファームウェア | ステータス |
|------------------------|-------------------------------|--------------|--------------|----------|
| リブーター-0005 RPC-M4LS | WATCH BOOT L-zero RPC-M4LS | 4.10A.230628 | 4.10A.230629 | アップデート完了 |
| リブーター-0009 RPC-M2CS | WATCH BOOT nino RPC-M2CS | 4.10A.230628 | 4.10A.230629 | アップデート完了 |
| リブーター-0010 RPC-M5CS | WATCH BOOT light RPC-M5CS | 4.00A.230123 | 4.10A.230629 | 未対応リブーター |

3件中1〜3件を表示

前1次

🔍 アップデート実行

⌂ 戻る

以上